

# 託す



2024衆院選



今年4月の介護保険の報酬改定で、訪問介護だけ減額になった。「衝撃の出来事。政治家には現場を知ってもらいたい」。人手不足や売り上げ減で事業者の倒産は増えている。「拍車がかかるだろう。報酬が少ないが、ホームヘルパーを好きな仕事と思えば、続けている年配ヘルパーもいるのに離職が進んでしまう」。

## 現場の実態知って

横浜市訪問介護  
連絡協議会代表

正木 光一さん(60)

協議会は、学校に出向いて訪問介護の魅力伝える活動も続ける。国も「住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる」として、地域包括ケアシステムを推進するが、「減額は方針に逆行していないか。肝心のヘルパーがいない。担い手頼りでは限界。環境を整えてほしい」と訴える。

(横浜市南区)